

平成25年度 学校法人関西大学 予算の概要

— グローバル社会で「考動」する関大人を育成—

学校法人関西大学 理事長 池内 啓三



1 予算編成の概要

平成25年度予算は、平成25年3月28日開催の理事会において承認されました。

我が国の大学を取り巻く環境が、急激な少子高齢化やグローバル化、情報化の進展など、激しく変化する中、文部科学省の「大学改革実行プラン」では、急激な社会の変化などに対し、大学は国民や社会の期待に応える改革を主体的に実行することが求められています。

このような中、本学では平成25年度に、人間健康学部、社会安全学部および初等部が完成年度を迎え、これにより本法人が命運をかけて臨んだ「2010プロジェクト」がいよいよ完遂いたします。

本予算は、「2010プロジェクト」を成し遂げた本法人が、高等教育機関として求められるさまざまな社会的要請に応え、さらに国際的に貢献する大学として飛躍するために必要な諸施策を盛り込んで編成いたしました。

平成25年度は、学生の主体的な学びの場となる「コラボレーションコモンズ」の開設、そして、学生の自立を支援する「学生相談・支援センター」を設置するなど、学修効果を高めるための支援体制の充実と施設環境の整備を図ります。また、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材育成に向けた、各種教育プログラムの充実や社会連携事業の展開、留学生の派遣・受け入れといった双方向交流の促進など、教育の質保証の強化を目指した取り組みを積極的に推進します。

また、本年創立100周年を迎える第一高等学校・第一中学校では、さらなる充実・発展を企図して、教育・学習環境の整備などの記念事業を実施します。

平成25年度の事業計画は、次の「2 事業計画の概要」のとおりですが、これらの諸事業推進に向け限られた財源のより効率的かつ効果的な活用を図るため、新規事業は既存事業の見直し・改善により展開し、既存事業についてもゼロベースの視点から費用対効果を検証し節減に努めました。今後とも、財政基盤の確立・強化を目指してさらに努力する所存です。

2 事業計画の概要

平成25年度における教育研究活動の事業計画の主なものは、次のとおりです。

(1)教育研究活動関係

ア 「Tutorial English(チュートリアル・イングリッシュ)」の本格的導入

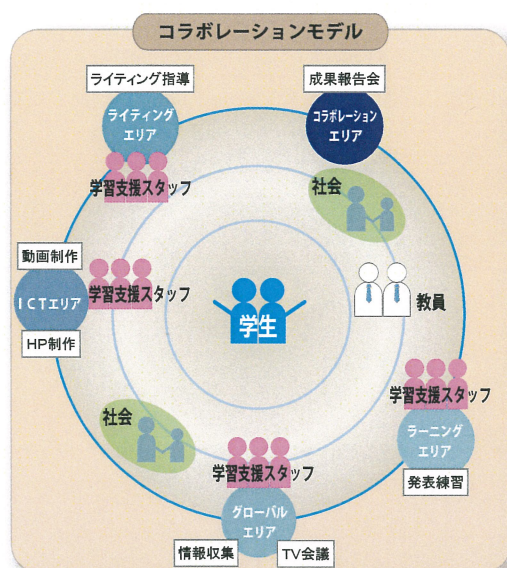
平成25年度秋学期に「語学実習(チュートリアル・イングリッシュ)」を授業科目として開講します。4人1組の少人数教育を実施することにより、実践的な英語コミュニケーション能力の養成を図ります。

イ 学生相談・支援センターの設置

障がいのある学生への支援を含めた本学学生の修学環境をさらに充実させるために、「学生相談・支援センター」を設置します。各相談窓口と協働して、専門的な知見も求めながら、学生の自立を支援する組織として新たな体制を構築します。

ウ 「コラボレーションコモンズ」の開設

学生が主体的に考え、コミュニケーションを行う空間となる「コラボレーションコモンズ」を平成25年4月に凜風館1階に開設します。平成24年度に採択された「私立大学教育研究活性化設備整備事業」により整備した、グローバルエリア、ライティングエリア、ボランティアエリア、ピアエリア、ラーニングエリア、ICTエリアの6つの専門エリアとコラボレーションエリアから成り、授業時間外の協同学習の促進および主体的な学びを円滑に進めるための学習者支援の充実を図ります。



エ 政策創造学部における国際アジア法政策学科の開設

グローバルな視野に立ち、アジアを中心とした法政策学を学修する国際アジア法政策学科を平成25年度に開設します。

オ グローバル社会に対応する産学官連携事業の推進

世界的に活躍する企業と連携した共同研究を促進し、国際的な課題に取り組むなど、グローバル社会への対応を視野に入れた、総合大学としての産学官連携の推進を図ります。

また、JR大阪駅北側開発区域「グランフロント大阪」内の知的創造拠点「ナレッジキャピタル」に「関西大学ナレッジキャピタル研究ラボラトリ」を設置し、地元大阪から関西大学の研究力を情報発信します。

カ 携帯情報端末に対応した「モバイル・ポータルシステム」の
開発

スマートフォンなどの携帯情報端末の急速な普及に伴う、学生のライフスタイルの変化に対応するため、「モバイル・ポータルシステム」を開発し、既存のインフォメーションシステムと連携させ、携帯情報端末の特性を活かした新たな情報サービスを展開します。

キ キャリア形成および就職支援の充実

人間健康学部および社会安全学部が完成年度を迎えることを踏まえ、全キャンパスの学生一人ひとりのキャリア形成の支援を行うとともに、就職模擬試験やTOEIC®受験などの補助を行い、就職活動支援を充実し、併せて大学院学生支援体制の整備を図ります。

また、グローバル化社会の人材ニーズに応えるため、国際
インターンシップをコアプログラムとした下位年次からの段
階的なグローバル人材育成システムを構築し、併せて外国人
留学生を対象とした日本での就業力を高めるプログラムを
充実させます。

この他にも、各学部・大学院における教育改革、教育・研究の充実に係る人的基盤の強化、各界で活躍の中の方々を客員教授として招聘するなど、教育研究の質の向上のためのさまざまな施策を推進いたします。

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

ア 第4学舎第2実験棟建替工事

昭和51年に建設した3階建ての第4学舎第2実験棟を、平成25年度から平成26年度の2年間で建て替えます。

新たな実験棟は、建築面積約700㎡、延床面積約3,500㎡、鉄骨造地下1階地上4階建で建設し、地下1階に廃液処理場等、1・2階を研究室ゾーンとして個人研究室8部屋、研究室6部屋、3・4階を実験ゾーンとして教育用実験場を設置し、壁面には再生木ルーバーの使用を検討するなど環境フィルターを設置し、軽快で新しい景観を創出します。



イ 関西大学第一高等学校・第一中学校プール建替工事 (創立100周年記念事業)

「関西大学第一高等学校・第一中学校創立100周年記念事業」の一環として、平成25年1月に着工した「関西大学第一高等学校・第一中学校プール」が竣工します。

建築面積および延床面積約800㎡、鉄骨造地上1階建てで建設し、温水プール(25m、7コース)のほか、ロッカー室、シャワー設備等を設置します。

ウ 北陽高中体育館(仮称)建替工事

北陽高等学校および北陽中学校の新たな正統体育および課外活動の場として、平成24年9月に着工した「北陽高中体育館(仮称)」が竣工します。

建築面積3,124.39㎡、延床面積7,976.70㎡、鉄骨造地上4階建てで建設します。1階に温水プール、柔道場、武道場、トレーニングルーム、2階に小競技場、部室、ミーティングルーム、災害時備蓄倉庫、3階にアリーナ、4階に観覧席(約300席)等を設置し、体育器具等を収納する倉庫2棟を併設します。

3 収支予算書

予算時も年度末財政をより分かりやすく

予算書については、私立学校振興助成法による学校法人会計基準に定められた『資金収支予算書』と『消費収支予算書』の2種類を作成することになっています。

『資金収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、予算編成を通じて計数化することにより、収入と支出を科目別に明らかにし、かつ、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにするものです。

『消費収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、消費収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。その年度の予算における消費収支の均衡状況とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

『貸借対照表』は、学校法人の一定時点における資産、負債、基本金、消費収支差額をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになっていますが、本学では予算時にも年度末の財政状態をよりわかりやすくするために『予想貸借対照表』を作成しています。具体的には、平成23年度決算の『貸借対照表』に平成24年度補正

後予算を加味して平成24年度末とし、さらに平成25年度予算を加味して平成25年度末の財政状態を予想したものです。

4 収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

平成25年度資金収支予算は、12頁に掲載の『資金収支予算書(総括)』のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、521億7,100万円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、516億2,800万円となりました。この結果、差し引き5億4,300万円を前年度繰越支払資金124億200万円に加え、次年度繰越支払資金は129億4,500万円となりました。

(2) 消費収支予算について

平成25年度消費収支予算は、12頁に掲載の『消費収支予算書(総括)』のとおりです。

帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、補助金などの法人に帰属する収入で、481億7,800万円となり、対前年度比較で3,700万円の減となりました。基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、14億1,000万円となり、対前年度比較で5億6,000万円の減となりました。帰属収入から基本金組入額を控除して消費支出に充当することができる消費収入は、467億6,800万円となり、対前年度比較で5億2,300万円の増となりました。

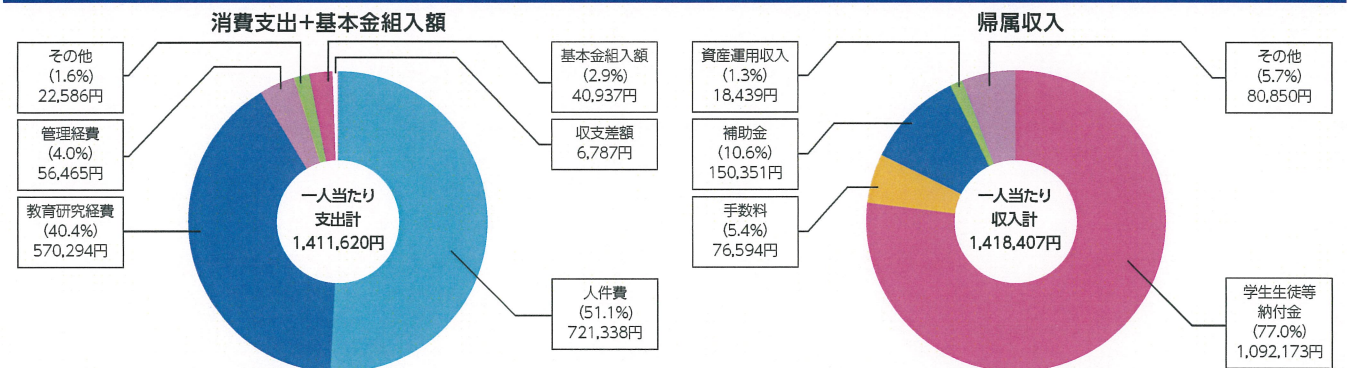
消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費で、465億3,700万円となり、対前年度比較で8,800万円の増となりました。平成25年度予算における消費収支の均衡状況を表す消費収支差額は、2億3,100万円の収入超過となり、対前年度比較で4億3,500万円の増となりました。この結果、次年度へ繰越することになる繰越消費支出超過額は、前年度からの繰越消費支出超過額417億1,100万円に、当年度消費収支差額2億3,100万円を加え、414億8,000万円となりました。

また、この累積消費支出超過額の外に、建物などの取得に際し、借り入れた借入金の未返済額にあたる基本金未組入額が70億6,000万円あり、この2つをあわせた485億4,000万円が実質上の繰越消費支出超過額となります。

平成25年度の予算書をはじめ、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、一度ご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>

平成25年度 消費収支予算における「学生生徒等一人当たりの支出とこれを賄う収入」



(注) 1 (消費支出+基本金組入額)および帰属収入の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数33,966人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものです。

2「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、または将来取償のための積立金などの主として資本的支出に充てる額です。

資金収支予算書(総括) 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(单位:千元)

支出の部				収入の部			
科 目	25年度予算	24年度予算	増 減	科 目	25年度予算	24年度予算	増 減
1 人件費支出	24,853,816	24,475,308	378,508	1 学生生徒等納付金収入	37,074,599	36,917,825	156,774
2 教育研究経費支出	13,620,270	13,016,894	603,376	2 手数料収入	2,595,380	2,675,732	△ 80,352
3 管理経費支出	1,701,322	1,959,413	△ 258,091	3 寄付金収入	390,000	400,000	△ 10,000
4 借入金等利息支出	102,296	102,187	109	4 補助金収入	5,121,809	5,248,542	△ 126,733
5 借入金等返済支出	851,470	765,310	86,160	5 資産運用収入	605,200	754,841	△ 149,641
6 施設関係支出	3,155,691	2,784,919	370,772	6 資産売却収入	32,351	468,695	△ 436,344
7 設備関係支出	1,220,528	1,637,553	△ 417,025	7 事業収入	1,050,644	1,078,506	△ 27,862
8 資産運用支出	4,558,013	5,461,068	△ 903,055	8 雑収入	1,221,340	997,392	223,948
9 その他の支出	2,830,202	3,251,215	△ 421,013	9 借入金等収入	1,476,000	2,411,000	△ 935,000
10 予備費	500,000	600,000	△ 100,000	10 前受金収入	6,234,786	6,328,261	△ 93,475
11 資金支出調整勘定	△ 1,766,152	△ 1,465,907	△ 300,245	11 その他の収入	3,588,845	2,793,456	795,389
(小計)	(51,627,456)	(52,587,960)	(△ 960,504)	12 資金収入調整勘定	△ 7,220,142	△ 7,611,085	390,943
12 次年度繰越支払資金	12,945,138	12,401,782	543,356	(小計)	(52,170,812)	(52,463,165)	(△ 292,353)
				13 前年度繰越支払資金	12,401,782	12,526,577	△ 124,795
支出の部 合 計	64,572,594	64,989,742	△ 417,148	収入の部 合 計	64,572,594	64,989,742	△ 417,148

(注)「24年度予算」は第1次補正後予算を示します。

消費収支予算書(総括) 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(单位:千元)

消費支出の部				消費収入の部			
科 目	25年度予算	24年度予算	増 減	科 目	25年度予算	24年度予算	増 減
1 人件費	24,498,272	24,476,931	21,341	1 学生生徒等納付金	37,074,599	36,917,825	156,774
2 教育研究経費	19,355,781	18,948,832	406,949	2 手数料	2,595,380	2,675,732	△ 80,352
3 管理経費	1,936,980	2,222,562	△ 285,582	3 寄付金	508,000	540,000	△ 32,000
4 借入金等利息	102,296	102,187	109	4 補助金	5,121,809	5,248,542	△ 126,733
5 資産処分差額	143,615	98,136	45,479	5 資産運用収入	605,200	754,841	△ 149,641
6 徴収不能引当金繰入額	0	0	0	6 資産売却差額	643	2,050	△ 1,407
7 徴収不能額	0	0	0	7 事業収入	1,050,644	1,078,506	△ 27,862
8 予備費	500,000	600,000	△ 100,000	8 雑収入	1,221,340	997,392	223,948
				帰属収入合計	48,177,615	48,214,888	△ 37,273
				基本金組入額合計	△ 1,410,134	△ 1,969,664	559,530
消費支出の部 合計	46,536,944	46,448,648	88,296	消費収入の部合計	46,767,481	46,245,224	522,257
当年度消費収入超過額	230,537		230,537	当年度消費支出超過額		203,424	△ 203,424
合 計	46,767,481	46,448,648	318,833	合 計	46,767,481	46,448,648	318,833
当年度消費収入超過額	230,537		230,537				
当年度消費支出超過額		203,424	△ 203,424				
前年度繰越消費支出超過額	41,710,766	41,507,342	203,424				
翌年度繰越消費支出超過額	41,480,229	41,710,766	△ 230,537				

(注)「24年度予算」は第1次補正後予算を示します。

予想貸借対照表 平成26年3月31日

(单位: 千四)

科 目	25年度末	24年度末	増 減	科 目	25年度末	24年度末	増 減
資産の部				基本金の部			
固定資産	191,241,036	189,818,121	1,422,915	第1号基本金	195,286,347	193,624,696	1,661,651
有形固定資産	111,240,166	112,800,852	△ 1,560,686	第2号基本金	460,000	758,254	△ 298,254
その他の固定資産	80,000,870	77,017,269	2,983,601	第3号基本金	19,881,360	19,850,623	30,737
流動資産	14,641,056	13,863,372	777,684	第4号基本金	3,198,000	3,182,000	16,000
資産の部 合 計	205,882,092	203,681,493	2,200,599	基本金の部 合 計	218,825,707	217,415,573	1,410,134
負債の部				消費収支差額の部			
固定負債	18,814,127	18,769,011	45,116	翌年度繰越消費支出超過額	△ 41,480,229	△ 41,710,766	230,537
流動負債	9,722,487	9,207,675	514,812	消費収支差額の部 合 計	△ 41,480,229	△ 41,710,766	230,537
負債の部 合 計	28,536,614	27,976,686	559,928	負債の部・基本金の部および消費収支差額の部 合計	205,882,092	203,681,493	2,200,599